

年月日

19

11

15

ペー  
ジ

27

NO.

令和元年となり、働き方改革も本格的な進展を迎える。働き方は社会的背景に影響を受け、そしてオフィスのデザインも働き方により変化する。今回は日本のオフィスの変遷をお伝えする。

1960年代、高度経済成長期の日本は、そろ使いスチール製のデスクを教室型に配置し事務員が業務を行っていた。70年代には企業の管理開発部門の重要性が増し、ワ

ープロや複写機が普及、事務作業は飛躍的に効率化。オフィスでは今なお多くの企業が取り入るアウトが主流となる。

80年代バブル景気では業務量の増加とともに深夜残業も常態化。一方でFAX、パソコンなどのOA化が進む。オフィスではエルゴノミクスチャア、パーテーションなどが導入され現代に近づく。90年代バブル崩壊により企業は多角経営から

## 「デザインのチカラ」

(16)



デンカのオフィス。オフィスの変化とともに働き方にも変化が起きた

事業集約へ、コスト削減・効率化に大きくかじを切る。携帯電話やネットワークパソコンなどが普及し、オフィスはフリー地址などの省スペース化、効率化が見られる。

2000年以降リーマン・ショックや東日本大震災など、景気や環境の不安定さが生じるも近年は経済回復基調の中、企

業においてはグローバル化、テクノロジーの進展、人材確保など複雑化する課題や、不確実で急速に変化する市場の中でいかに生産性を上げていくかが重要となる。

働き方は効率性重視から、いかに創造性を生み出し、イノベーションを起こしていくか、業種を超えていくか、業種を

本来の意味での働き方改革、企業変革の節目となる令和の時代が始まることで、新たなワークプレイスを様々なワークプレイスを視察調査し、国内におけるワークプレイス・ワーケティング室長。世界の企画・マーケティング・デザイン・コンサルティングも実施。京大をはじめ大学などとの産学共同研究も行っている。

## オフィスも働き方で変化

にも大きな変化が起きている。

プロフィール  
大川貴史（おおかわ・たかひろ）

三井デザイ

ケティング室長。世界の企画・マーケティング・デザイン・コンサルティングも実施。京大をはじめ大学などとの産学共同研究も行っている。